

～水辺の楽校（つまりっ子広場）～

1. アクセス方法



□主なアクセス方法
十日町駅より車で約10分

2. 全体図



- | | | |
|--------------------|-----------------|--------------------|
| 1. 高水敷駐車場 | 2. 堤防高水敷側階段 | 3. 高水敷歩道橋 (w=4.0m) |
| 4. 高水敷歩道橋 (w=2.0m) | 5. 池 (ワンド) | 6. 桜づつみ |
| 7. 散策路 (w=2.0m) | 8. 散策路 (w=4.0m) | 9. 堤防側帯駐車場及び照明灯 |
| 10. トイレ施設 (水防倉庫併設) | | |

3. 施設データ

地方整備局 : 北陸地方整備局
 事務所名 : 信濃川河川事務所
 水系名 : 信濃川水系
 河川名 : 信濃川
 所在地 : 十日町市下島
 施設管理者 : 国土交通省、十日町市
 kp・左右岸 : 630～640kp右岸
 面積 : 約231,000m²

□主な利用

高水敷には「新潟のすぐれた自然の保全対象種」に指定されているミヤマシジミが生息しており、緑豊かな自然に囲まれた親水公園です。

自然教育や体験学習、憩いの場として多くの市民に利用されています。

□管理の状況

「水辺の楽校活用協議会」が中心となり、高水敷にミヤマシジミの幼虫が食べるコマツナギ（マメ科）の苗を植える作業を行ったり、生態系維持のため外来種の駆除活動やゴミ拾いなどの環境美化活動も行っています。利用者にもゴミをもちかえってもらうように呼びかけています。

4. 水辺の楽校の歴史・利用状況



「成り立ち」
川を身近な自然教育の場として整備する「水辺の楽校プロジェクト」の一つとして、平成13年に開校しました。



「河川敷」
散策や学習等に利用されています。また、大規模なゴミ拾いイベントも開催されています。



「堤防」
散策やサイクリング等に利用されています。また、ウォーキングイベントも開催されています。



「ミヤマシジミ（左）とコマツナギ（右）」
ミヤマシジミは、国や新潟県で絶滅危惧種に指定されています。幼虫はコマツナギを食草としています。